

月信

2025
3月号
vol.9



GOVERNOR'S MONTHLY COMMUNICATION

2024～2025年度 国際ロータリーテーマ
**ロータリーは、あなたと私が
出会うところ。
そして、次の世代に何をわたせるか
共に考え行動しましょう！**
2024～2025年度 第2600地区標語



CONTENTS

ガバナーのあいさつ 白鳥敬日瑚	1
活動報告	2～3
夢の実現プロジェクト	3
クラブのご紹介	4
ロータリー財団・米山記念奨学金への寄付	4
訃報／新入会員のご紹介	4

写真はフリー素材より

R I 会長／ステファニーA・アーチック R I 理事／水野 功（東京飛火野RC） ガバナー／白鳥敬日瑚（佐久コスモスRC）



ガバナーからのメッセージ

国際ロータリー第2600地区
2024～2025年度

ガバナー 白鳥敬日瑚

皆さま、こんにちは。早いもので今年度も折り返しを過ぎ、3月を迎えました。春の訪れとともに、各クラブの皆さまが活発に奉仕活動を展開されていることを嬉しく思います。日頃のご尽力に心より感謝申し上げます。

今年度の国際ロータリーのテーマは「**ロータリーのマジック**」です。この「マジック」とは、私たち一人ひとりの行動の積み重ねによって生まれるものです。例会での学び、新たな仲間との出会い、地域社会との連携——これらすべてが、人々の人生に変化をもたらす小さな「マジック」です。

先日、東信第一・第二GのIM・会員セミナーが上田西RC様、千曲川IRC様をホストとしてご苦勞いただき開催されました。会員によるパネルディスカッションに続き、黒川伊保子様のご講演「家族のトリセツ」では、男性と女性の脳の違いを学

び、円滑な会話のコツを知ることができました。セミナーは大成功を収め、懇親会では上田市長・土屋様からご挨拶をいただきました。土屋様は、私が上田第三中学校のバレー部に所属していた頃の1年先輩です。当時、私は後衛のセンター、土屋様は中衛のセンターで、サーブを受けて土屋先輩のお尻にボールをぶつけたりして、一緒に汗を流した日々が懐かしく思い出されました。そんな二人が53年の時を過ぎてロータリーの懇親会で隣に座る、まさにロータリーのマジックですね。

さて皆さま、今年度の地区テーマは「**ロータリーはあなたと私の出会うところ。そして次の世代に何を渡せるか共に考え行動しましょう！**」です。私たちは未来へ何を残せるのかを常に意識しながら活動していくことが重要です。各クラブの奉仕活動が地域社会の希望となり、未来のロータリアンへとつながることを願っています。年度後半も皆さまの活動をご支援させて頂き、共にロータリーの精神を広げることができれば幸いです。世界を昨日より1mmでも平和で豊かにできるよう仲間を増やすために、**会員5%の純増（30名のクラブでは2名増）とご寄付5%アップ（年次基金1,000ドル等）の達成**を目指し、共に尽力して参りましょう。

Rotary
第2600地区



活動報告

◆駒ヶ根ロータリークラブ創立65周年記念式典 12/10

駒ヶ根RC会長 北川 浩一

12月10日JAアイパル伊南において駒ヶ根ロータリークラブ65周年記念式典が開催されました。1960年4月18日に飯田ロータリークラブのスポンサーにより創立されました。長野県内で5番目の創立のロータリークラブです。



当日は、2600地区白鳥ガバナー、窪田上伊那地区ガバナー

補佐、伊藤パストガバナー、姉妹ロータリークラブの磐田ロータリークラブ、上

伊那地区の各ロータリークラブの会長さんをお招きして来賓各位のご祝辞を頂戴

しながら懇親を深めることができました。第一部では駒ヶ根ボーイスカウト60周年の記念品贈呈、ガールスカウト長野県第32団へ寄付金、駒ヶ根市への歳末助け合い募金の贈呈を行いました。駒ヶ根ロータリークラブ創立の当時の苦労をお伺いすると過去の先輩方と現在の関係者各位の存在に助けられて、駒ヶ根ロータリークラブの65周年を迎えられたとの感謝の思いがわいてきます。

第二部では、青少年育成基金事業プログラムの「駒ヶ根子ども音楽祭」の出演メンバーの赤穂南小学校金管バンドによる記念演奏をお聞きしました。担当の先生の熱意と子供たちの一生懸命さに心を打たれる素晴らしい演奏でした。校長先生とご父兄の皆様が子供たちを一生懸命フォローしてこの演奏がされたことも感動しました。ご臨席いただいた来賓各位、当クラブ会員のご家族の皆様におかれましても、常日頃より駒ヶ根ロータリークラブに、ご厚情とご鞭撻を賜り厚く御礼申し上げます。



◆小林磨史ガバナーエレクト国際協議会壮行会 1/18

松本南RC会長 花岡 貞夫



小林磨史ガバナーエレクト（GE）が米国オーランドで開催される国際協議会に出席することに伴う壮行会が1月18日、松本市のホテルブエナビスタで開かれました。小林GEが所属する松本南RCの2025年初例会を兼ねた集いとなり、国際ロータリー第2600地区から御来賓36名をお迎えして、小林GEの渡米を賑やかにお祝いしました。

開会の辞に続いて花岡貞夫・松本南RC会長が歓迎の辞を述べました。壮行会の発起人を代表して都筑文男パストガバナーが挨拶に立ち、「協議会での研修を通じてバージョンアップしたロータリーを私たちに教えていただきたい」と小林GEを激励しました。白鳥敬日瑚ガバナーは「オーランドは本当に素晴らしい所。国際協議会で更にリーダーシップを磨き、2600地区の未来を切り拓いてほしい」と小林GEに壮行の辞を贈りました。

折井正明・直前ガバナーが乾杯の音頭を取って祝宴が始まり、出席したパストガバナーの皆さんが次々と小林GEへのお祝いの言葉を述べました。和やかな雰囲気の中、小林GEの娘さん夫妻がステージに上がり、音楽演奏を披露する場面もありました。

お礼の挨拶に立った小林GEは「国際協議会は遊ぶ暇がないと聞いている。この先ロータリーがどうなっていくのかを学び、2600地区のお役に立つようにしたい」と渡米への決意を述べました。



活動報告

◆2025学年度米山奨学生選考会 1/19

米山記念奨学委員長 岡村 肇 (長野北RC)

まず、1月10日に「面接委員オリエンテーション」を開催しました。今年から書類審査よりも面接審査の配点を重くすることになりました。また、面接の評価対象は、学業・異文化交流・コミュニケーション能力であって、経済的な事由は評価対象外であることを確認しました。

その上で、1月19日に松本商工会館で「米山奨学生選考会」を開催しました。11名の応募者を2班に分けて面接を行いました。最終審査での相当な審議を経て7名の合格者が決まりました。

ロータリアンの皆様には、将来有望な若者たちの成長を温かく見守って頂きたいと思います。



◆RLI Part I 1/26

RLI委員長 佐藤 友則 (上田東RC)

令和7年1月26日、塩尻市市民交流センター(えんぱーく)において、RLIパートIを開催しました。

本年は、50名のロータリアンの方が登録され、当日は42名の出席となりました。

パートIでは、「ロータリアンとしての私」をテーマに、一人一人がロータリアンとしてまず学ぶべきことが、全6セッションを貫くテーマになっています。

各セッションでは、参加された方から様々な意見が出されました。また、ご自身が所属するクラブの現状について説明していただきました。

参加された皆様には、他の参加者のご意見、他のクラブの状況を聞くことで、新たな発見や気づきがあったと思います。

本年も、よろしくお願いいたします。

夢の実現プロジェクト

1/13 諏訪グループ

茅野RC会長 竹村 一男

青少年奉仕「夢の実現プロジェクト」事業を諏訪グループ主催、茅野RC主幹にて開催させていただきました。



令和6年10月に実施した歩行ケア事業に続き、令和7年1月13日に心のケア事業として元ス皮ードスケート日本代表の高木菜那さんをお招きし、「なな転び八起き～わたしが今伝えたいこと～」と題し、自己肯定感の向上を目的とする講演会を茅野市民館で開催いたしました。



高木さんから自身の大切な考えとして「挑戦」を挙げ、「失敗してもいい、挑戦する中で成功する体験を積み上げれば自信となり力になる」。また「人と比べるのではなく自分自身を見つめてほしい」。「努力した日々は結果につながらなかったとしても人生の宝物になる」とお話しいただきました。

当日はお子様からご高齢の方々まで約510名にご来場いただき、講演を楽しんでいただくとともに、大勢の皆さんにロータリクラブの成り立ちから現在の活動内容などをご紹介する良い機会となりました。

この事業を通し、茅野市の小学生が歩行ケアにより自分の身体を知り、体操を行うことで改善に繋がる事と、講演により自己肯定感を高めていただく「極上の刺激」をご来場いただいた方にお届けできた事をご報告させていただきますとともにご協力いただきました諏訪グループの皆さん、ご尽力いただきました皆様へ感謝申し上げます。



クラブのご紹介／ロータリー財団・米山記念奨学金への寄付／訃報／新入会員のご紹介

クラブのご紹介

諏訪グループ

茅野ロータリークラブ幹事 深井 孝彦

茅野ロータリークラブは1981年1月26日に創立され、次年度45周年を迎えます。会員数は55人、平均年齢65.5歳のクラブで、非常にアットホームであり“うるさ方”がない溫和で楽しいクラブで居心地が良いのが自慢です。

特に注力している活動は、青少年奉仕事業です。茅野ロータリークラブがスポンサーの東海大学付属諏訪高等学校のインターアクトクラブがあります。東海大諏訪高校とタイ王立スワンクラブヴィットヤーナランシット校の間で10日間ほど授業に参加する「短期交換留学プロジェクト」をサポートしています。この高校は首都バンコクから車で40分程度のパトゥムターニー県にあ

って、生徒約3,400人が学ぶ中高一貫教育校です。卒業生の98%が大学進学という、地域ではトップの進学校であり名門校だそうです。こちらの高校の生徒にも支援金を送り渡航してもらっています。

その他にも茅野市立永明小学校と米沢小学校の行う学有林にイロハモミジ植樹、永明中学校と行う永明寺山公園の遊歩道整備や下草刈りといった森林整備体験、きのこの菌打ち体験などの体験学習への協力を行っています。

若い会員も増え、これからも茅野らしい「楽しいクラブ」を続けていきたいと考えます。

ロータリー財団・米山記念奨学金への寄付



小諸RC
かしわぎ ひろし
柏木 若雄
PHF
第1回米山功労者



小諸RC
のほろつ
こやま のぶゆき
小山 信温
米山功労者マルチプル 2回



小諸浅間RC
かとう てるお
加藤 輝男
MPHF 1回
米山功労者マルチプル 6回



小諸浅間RC
こいけ へいちろう
小池 平一郎
MPHF 5回
米山功労者メジャーナード 10回



小諸浅間RC
りょうかわ ひろゆき
両川 博之
第1回米山功労者



長野南RC
うちだ てつお
内田 哲郎
米山功労者マルチプル 2回



長野北東RC
さいとう さいちろう
齋藤 幸代
第1回米山功労者



茅野RC
やじま まきこ
矢崎 貞和
ベネファクター



飯田南RC
おかだ としひさ
岡田 寿久
MPHF 8回



飯田南RC
きのした ひろふみ
木下 博文
PHF



飯田南RC
しのだ のぶひこ
篠田 知並
MPHF 2回



飯田南RC
なかじま ひとし
中島 仁志
PHF



飯田南RC
はしがみ のぶひさ
橋上 信久
MPHF 5回
米山功労者マルチプル 2回



訃報



長野北RC
にしやま としあき
西山 利昭
享年64歳
2025年2月5日ご逝去



天竜川IRC
てんりゅうがわ ゆきひろ
北城 勇
享年77歳
2024年12月16日ご逝去



新入会員のご紹介



小諸RC
いちかわ やすこ
市川八寿子
製材



上田RC
うえはら あきひろ
上原 文明
煙火製造



RID2600
Web Portal



月信3月号
電子ブック版

国際ロータリー第2600地区事務所

〒390-0811 松本市中央1-23-1 松本商工会館4F
TEL 0263-38-0800 FAX 0263-38-0801 E-mail : info@rid2600jp.org

白鳥敬日瑚ガバナークラブ事務所(佐久コスモスRC内)

〒385-0051 佐久市中込3-19-6 佐久グランドホテル内
TEL 0267-63-7878 FAX 0267-63-7879 E-mail : mail@sakucosmos-rc.jp